

目標達成計画

作成日：平成 21年 12月 24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	いかにして地域住民の方々に、この施設の存在を知っていただくか。さらに、地域の方々との交流をどのようにすすめていくか。	自治会や地域の指導的立場の方々のご協力を得て、グループホームの認知度を高め、認知症に関しての理解と協力を得られるようにする。	地域の行事や活動に数多く参加し、グループホームの利用者や職員を知って頂き、この施設が自分達の地域内にあることを喜んで頂けるようにする。	12ヶ月
2	35	災害対策としての食べ物の備蓄ができていない。	すでに先進的に取り組んでいる法人内の特養に学び、必要備品の備蓄確保をする。	グループホーム出水として備蓄する必要があるものの種類や量、期間等のリストアップの一覧表の作成、保管場所の確定、品目ごとのチェック計画の策定、職員やご家族への周知をした上で、備蓄を行う。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。